

# わかしお便り

Vol. 29

Wakashio Dayori  
2020.1.16

あけましておめでとうございます。  
 昨年は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼を申し上げます。  
 本年も情報の発信に努め、皆様の一助となるべく励んで参ります。  
 本年もよろしくお願ひ申し上げます。

CONTENTS 原料小麦情報……シカゴ市況、麦価・粉価動向など  
 市場トレンド情報……‘ちばふん’目線で最近の食品市場をご案内  
 新製品発売状況……イチオシ製品のご紹介  
 製品原料情報……原料小麦について  
 雑感



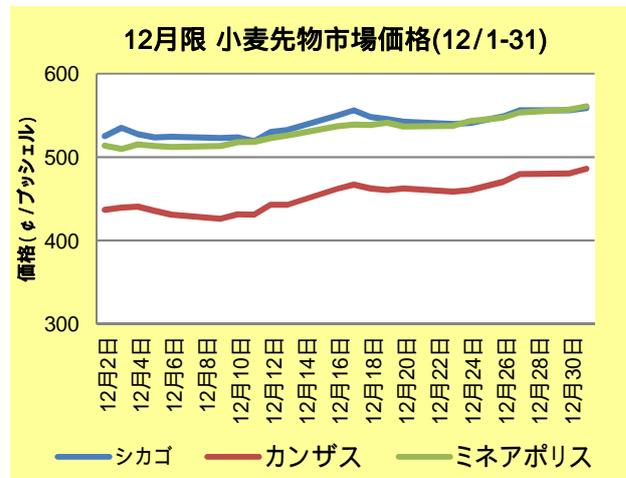
## 米中貿易協議の部分合意を受けて穀物相場全体が上昇、引き続き今後の動向に注目。

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

12 / 1 ~ 31のシカゴ穀物相場(3月限)は、¢ 519 ~ 559 / ブッシェル(bu)のレンジで推移し、12月の小麦相場も先月からの流れを受けて上昇が続きました。北米産冬小麦の作柄懸念、オーストラリアやアルゼンチンといった南半球の小麦生産国の作柄見通しの他に、米中貿易協議が部分合意に達したことを受け、大豆をはじめとする米国産穀物の輸出拡大への期待感による上昇要因が大きいものと考えられます。

USDA(米国農務省)の小麦需給報告においては米国産小麦の期末在庫は前月比で100万トン以上減少し、5年ぶりの低水準となる見通しとなっています。こちら相場上昇を下支えする要因の一つとなっているようです。

2020年に入り、船舶の排ガスに含まれる硫黄酸化物(SOx)の規制が強化されました。これに対応する燃



料の価格上昇や、船舶の排気装置の交換などにより今後海上運賃のさらなる上昇も見込まれています。

国内産小麦に目を向けると、昨年同様、北海道の小麦産地における積雪の少なさが懸念されます。本来この時期には圃場は雪で覆われており、秋に播種された小麦は雪の下で凍結による枯死から身を守ることができます。昨年も冬場の凍結が心配されましたが最終的には豊作となりましたので、現時点では未知数な要素ではありますが、引き続き注意が必要です。



# 市場トレンド 情報

## 「今年の食のトレンド予測」

新年明けましておめでとうございます。令和最初のお正月、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

さて昨年(2019年)一年間を振り返って食のトレンドを振り返ってみると、キーワードとして「チーズ」、「韓国風」、「タピオカ」、「高級食パン」、「かき氷」、「機能性乳酸菌」、「悪魔の」、「サラダチキン」などが記憶に新しいところだと思います。

そしてそこから派生した流行語も数々、例えばタピオカミルクティーを飲みに行くことを「タピ活」や「タピる」と呼ぶなど…。とは言え2019年後半以降、ダイエットの大敵とマスコミで指摘されるようになってからは、体重増加に敏感な若い女性から敬遠されがちになり、徐々にタピオカ専門店も縮小傾向になってきているようです。

そして新大久保の韓国街でブームが始まった「チーズドック」も当初のブームほどではなくなっているようですが、チーズをキーワードにした商品は今後も引き続き流行するのではないかと予想されています。

また高級食パン、生食パンのお店もあつという間に店舗が増えて、未だに並ばないと購入できないお店もあるようです。

さて今年(2020年)の食のトレンドになりそうなのは東京オリンピック効果による流行ではないかと予想しています。様々な国から外国人観光客が来訪されることを考えれば、国際色豊かな食の流行、更にビーガン、ハラールフードの一般への浸透が進むのではないかと思います。弊社におきましても、NPO法人 日本アジアハラール協会よりハラール認証を受けております。近年急増するイスラム文化圏からの観光客や留学生、在日ムスリムの方々に安心して食事をしていただけるよう、ハラール対応のパン・麺を製造して頂くためのハラール認証小麦粉を製造しております。

またSNSでは凄まじい影響力のあるインフルエンサーが食の流行トレンドにも大きな影響を与えているようですが、前述の通り今年には色々な国の料理や食品が流行、更に外国人観光客による和食ブーム、B級グルメブーム、ラーメンのブームが更に来るのではないかと思います。オリンピックと共に、この一年を楽しく過ごせたらいいですね。



# 新製品発売状況



## 「ブレッドミックスR」

ミックス粉の新商品、「ブレッドミックスR」をご紹介します。

昨今、高級食パンの専門店を筆頭に各社こだわった食パンを売り出しており、市場に定着してきたところかと思えます。従来の食パンと比べて糖分や油脂が多く配合されていたり、特定のブランドの砂糖やはちみつ、バターなどのこだわりの原料を配合するものが多いようです。

このブレッドミックスRは国産のもち米粉、国産塩、種子島産粗糖などを使用しており、しっとりもちもちとした食感に仕上がるだけでなく、こだわり材料としてもアピールすることができます。濃縮タイプのミックス粉になりますので、お手持ちの配合の一部をブレッドミックスRに置き換えていただくだけで、特徴ある製品が作製できます。

また、新たな特色ある原材料を手配する手間や在庫管理を省き、オペレーションの簡略化をお手伝いできると考えております。荷姿は省スペースでも使いやすい5kg袋となっております。

ぜひ一度お試し頂ければと思います。



# 製品原料情報



## オーストラリア産原料小麦について

オーストラリアの大部分は砂漠や半砂漠です。小麦は乾燥した土地でも育ちますが、ある程度の降雨が必要です。そのため、オーストラリアでは降雨が多い、南半分の海岸沿いの地域で生産されています。収量は降雨量に影響され、干ばつの年は収量が大幅に減少します。

オーストラリアは南半球なので日本と四季が逆となり、秋(4~6月)に種をまき、冬を越して、初夏(11~1月)に収穫をする小麦が冬小麦となります。またオーストラリアの小麦は全て粒の色が白い白小麦になります。銘柄は蛋白質含有量、容積重、品種、生産地域によって区分され、日本は2銘柄を輸入しています。

ウエスタン・オーストラリア州(オーストラリア西沿岸)で生産されたオーストラリア・プレミアム・ホワイト小麦(略称:APW)と、オーストラリア・ヌードル小麦(略称:ANW)を一定の割合で配合したものが、日本向けASWと呼ばれる銘柄となります。

APWは一定基準以上の品種で構成され、高品質なものを選別した銘柄です。ANWは、日本麺(うどん)適性が高い品種だけで構成されている銘柄です。この2銘柄を配合することで、食感が滑らかで、軟らかいが適度な歯応えがある優れた日本麺を作ることができます。また、やや黄色味がかかったきれいな色合い(クリーミー・ホワイト)の小麦粉ができます。

### (2) オーストラリア・スタンダード・ホワイト

(略称:ASW)

オーストラリア国内で流通しているASWと日本へ輸出しているASWは内容が異なるため、日本へ輸出しているASWのみ説明します。



出典: 製粉振興会 - 小麦粉のおはなし - 小麦粉の用途別生産量

令和になっての初めてのお正月を迎えました。  
そこで元号が変わってすぐの令和元年と、平成元年・2年の出来事を比較してみました。

## 平成と令和 出来事くらべ

### 「平成元年の主な出来事」

- ・首相 宇野宗佑
- ・消費税3%スタート
- ・音楽 プリンセス・プリンセス「Diamonds」
- ・アニメ YAWARA! ドラゴンボールZ
- ・ゲームボーイ発売
- ・流行語 セクハラ、オバタリアン、デューダ
- ・事件 国内 宮崎勤 連続幼女誘拐  
海外 天安門事件

### 「平成2年の主な出来事」

- ・首相 海部俊樹
- ・共通一次試験が大学入試センター試験に改称
- ・雲仙普賢岳噴火
- ・音楽 B.B.クイーンズ「おどるポンポコリン」
- ・アニメ ちびまる子ちゃん
- ・スーパーファミコン発売
- ・流行語 アッシーくん、おやじギャル、バブル経済
- ・事件 東西ドイツ統一

### 「令和元年の主な出来事」

- ・首相 安倍晋三
- ・消費税8%から10%へ増税、軽減税率導入
- ・ラグビーワールドカップ日本開催
- ・嵐 2020年活動休止
- ・MISIA デビュー20周年
- ・ベースボールプレミア12 日本優勝
- ・流行語 ワンチーム、スマイリングシンデレラ、  
闇営業

平成と令和を比べると、消費税のスタート・変更など共通する項目もある一方、当時のヒット曲やアイドルなど時代の移り変わりを感じる部分や、昭和のバブル経済を思い出させる言語などを見ることができません。また今年、令和2年は、東京オリンピックが開催される年でもあります。何か希望の持てる新元号、新年であってほしいと切に願うところです。

以上簡単ではありますが、本年も引き続き宜しくお願い申し上げます。

T.Iより



千葉製粉株式会社

製粉・ミックス事業本部

Tel:043-241-0116 Fax:043-241-0611 E-mail:seifun-mix@chiba-seifun.co.jp

【重要】本レポートは、あくまで小麦粉関連の情報提供を目的に作成されたものです。  
信頼できると思われる 公開情報に基づき作成されておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。読者の皆様におかれましては上記ご留意の上、ご賢覧くださいませ幸いです。  
皆様に未永くご愛読いただけるよう執筆者一同精進いたしますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。